

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	アントレプレナー精神		
担当者(Instructors)	寺島 雅隆	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

アントレプレナーシップの起業活動を除いた心理的領域を扱い、ビジネスパーソンに必要な行動様式（エートス）を考える。具体的には、シュンペーターから始まるイノベーション（新機軸）理論からドラッカーの起業家理論の流れを講義すると共に、第三次産業における情報技術（IT）を中心とする起業家の思考方法について深く掘り下げる。また、それらの経営者の台頭によって生じる働き方の変化に対して、組織心理学や組織行動論などの知見を参照し、その適応について考えを巡らす。本授業で目標とすることは、時代変化を理解し、裁量労働をはじめとするエートスの変化を認識すると同時に促進することである。以上の内容を演習形式で行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	グループワークでの発表形式。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	概要説明+アントレプレナーシップとは	アントレプレナーシップの概念を説明します。	<input type="checkbox"/>
第2回	起業家的思考と行動	起業家の考え方や行動を理解します。また、理論の流れとしてシュンペーターからドラッカーを説明します。	<input type="checkbox"/>
第3回	ケーススタディ1-商社	商社におけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第4回	ケーススタディ2-小売	小売におけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第5回	ケーススタディ3-金融	金融におけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第6回	ケーススタディ4-IT1	ITにおけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第7回	ケーススタディ5-IT2	ITにおけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第8回	ケーススタディ6-IT3	ITにおけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第9回	ケーススタディ7-メーカー1	メーカーにおけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第10回	ケーススタディ8-メーカー2	メーカーにおけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第11回	ケーススタディ9-飲食1	飲食におけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第12回	ケーススタディ9-飲食2	飲食におけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第13回	ケーススタディ9-飲食3	飲食におけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第14回	ケーススタディ9-飲食4	飲食におけるアントレプレナー的行動とはどのようなものかを考えます。	<input type="checkbox"/>
第15回	授業のまとめ	授業をまとめると共に、期末レポートを説明します。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前には、授業テーマに沿った情報収集、および分析をする（2時間程度）。事後には、疑問点を解消し、情報収集及び分析をする（2時間程

度)。プレゼンテーション前には、パワーポイントと事業計画書の作成をおこなう。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業における発表について成績をつけます。次回授業までにLMSに反映させます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	リベラルアーツの総合力に加え、創造性を発揮し、グループで協働し、発表することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	グループの中で、主体的かつ補佐的に全体力を向上させることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

プレゼンテーションが80%、期末レポートが20%です。出席に関しては、毎回授業後に感想レポート(200字程度)を提出することで出席とみなします。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	寺島雅隆著『起業家育成論』唯学書房	
2	寺島雅隆著『障害者の経営学—雇用から起業へ』三恵社	
3		
4		
5		